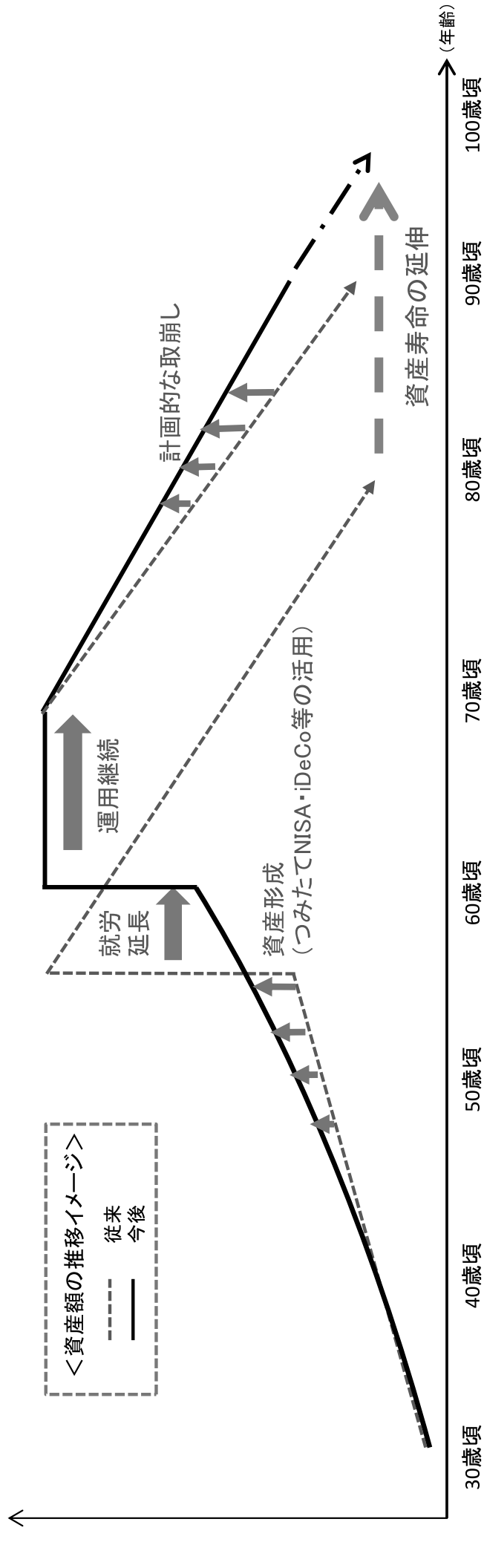


高齢社会における資産形成・管理

ライフステージ別の留意点

← ① 現役期	→	← ② リタイヤ期前後	→	← ③ 高齢期	→
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 早い時期からの資産形成の有効性の認識 ✓ 少額からでも長期・積立・分散投資などによる安定的な資産形成 ✓ 自らにふさわしいマネープランの検討 		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 退職金がある場合、それを踏まえたマネープランの検討 ✓ 就労継続や収支の改善策の実行 ✓ 資産運用継続と計画的な取崩し 		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 心身の衰えを見据えたマネープランの見直し ✓ 認知・判断能力の低下・喪失への備え 	



資産寿命を延ばす顧客の行動をサポートするため、金融サービス提供者に求められる対応

- ・ 顧客本位の業務運営（顧客にふさわしいサービスの提供、手数料の明確化、分かりやすい説明等）
- ・ 持続可能なサービス（サービスに見合った適切な対価の設定と説明）
- ・ 「自助」充実のニーズ増に応じた資産形成・管理やコンサルティング機能の強化等

行政や業界団体などによる環境整備（資産形成制度の充実、高齢顧客保護など）